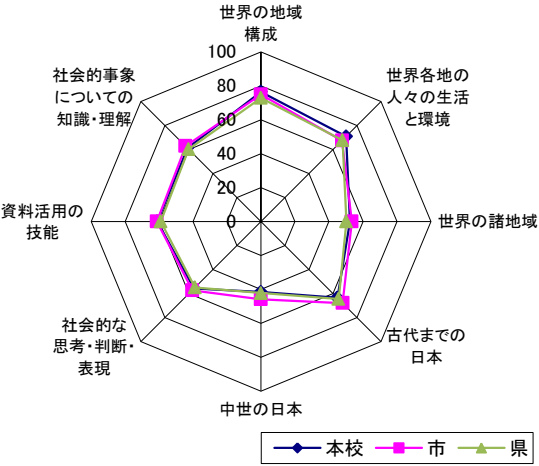


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	76.4	74.8	72.8
	世界各地の凶々の生活と環境	70.9	67.5	67.8
	世界の諸地域	52.3	53.4	50.2
	古代までの日本	63.6	68.0	64.6
	中世の日本	41.6	45.8	42.2
観点	社会的な思考・判断・表現	55.9	57.3	55.0
	資料活用技能	61.1	61.4	59.1
	社会的な事象についての知識・理解	61.3	62.9	60.3



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	○緯度経度の理解と地図の読み取りに関する問題が、すべてにおいて県平均よりも6ポイント高い。 ●世界に地域区分の理解が県平均よりも2.6ポイント低い。	・世界の6大陸の名称やアジアでの区分、また、ユーラシア大陸におけるヨーロッパとアジアといった基本的な区分けを理解させるとともに、世界の略地図を書くことができるよう理解を深めたい。
世界各地の人々の生活と環境	○世界各地の生活と環境についての理解から、気温図からどの地域のものかを判断させることにおいて、県平均より8.9ポイント高い。	・世界各地の人々の生活と環境についての理解は比較的に深まっているため、衣食住を捉える学習については興味関心を持たせる授業が展開できたようである。今後、さらなる教材研究に努めたい。
世界の諸地域	○偏西風とヨーロッパの気候との関連性については、県平均より11.1ポイント高い。 ●EUについて、複数の資料から考察し説明することに関しては、県平均より7.8ポイント低い。	・資料から考察し、説明することに関しては課題を抱えている現状が反映されている。資料の読み取り方のポイントを押さえるとともに、文章で説明するときの答え方の模範例を提示し、少ない空白に正しい語句をあてはめることから徐々に慣れさせていきたい。
古代までの日本	○十七条の憲法の制定理由とその背景については、県平均より8.7ポイント高い。 ●平安時代に関して全体的に理解が不十分である。	・天皇から貴族へと権力の中心が移る中、都の遷都や文化、また、多くの天皇が出てくる奈良時代からの変化を捉えることができていない。まずは、頻出となる藤原家による摂関政治について、きちんと理解を深めさせたい。
中世の日本	○年表の表し方については、県平均より8.3ポイント高い。 ●鎌倉時代について、幕府の特徴や承久の乱などについての理解が不十分である	・前段にもあげたが、飛鳥時代、奈良時代・平安時代・鎌倉時代で天皇→貴族→武士といった政治の中心となった人々の特徴と流れを改めて復習させ、時代背景とともに文化をもう一度捉えさせたい。